

2020年8月21日

各位

会社名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 小林 剛
(JASDAQコード: 9973)
問合せ先 経営企画部室長 毛利 謙久
(TEL. 03-4586-1122)

**臨時株主総会開催日及び付議議案の決定、資本金及び資本準備金の額の減少、
剰余金の処分並びに完全子会社の吸収合併に関するお知らせ**

当社は、2020年7月29日付「臨時株主総会招集のための基準日設定に関するお知らせ」において、2020年8月13日を基準日と定め、臨時株主総会を開催する旨のお知らせをいたしておりましたが、本日開催の当社取締役会において、臨時株主総会の開催日及び付議議案（資本金及び資本準備金の額の減少、剰余金の処分並びに完全子会社の吸収合併を含む。）について、下記のとおり決議致しましたので、お知らせ致します。

記

【臨時株主総会の開催日時等】

1. 開催日時 2020年9月30日（水） 午前9時
2. 開催場所 東京都中央区日本橋箱崎町42番1号
T-CATホール1階
3. 付議議案 議案1 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件
議案2 完全子会社である株式会社東京小僧寿しとの吸収合併契約承認の件
4. 各議案の概要 下記をご参照下さい。

議案1 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件

1) 目的

現在生じております、利益剰余金欠損額を解消し、中期経営計画の達成による利益の創出に基づく、将来における剰余金の配当等の株主還元策の実現を可能にするとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的としております。

2) 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の内容

会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えたうえで、会社法第452条の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少により生じるその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損補填を行うものであります。

(1) 減少すべき資本金及び資本準備金の額

2020年8月21日現在の資本金の額 3,491,776,023 円のうち、3,481,776,023 円を減少して、10,000,000 円と致します。

また、2020年8月21日現在の資本準備金の額 2,387,890,622 円の全額を減少して、0 円と致します。

(2) 増加するその他資本剰余金の額

2020年8月21日現在のその他資本剰余金の額212,594,156円について、5,869,666,645円増加させ、6,082,260,801円と致します。

(3) 減資の方法

払戻を行わない無償減資であり、発行済み株式総数の変更は行わず、資本金及び資本準備金の額のみ減少致しますので、株主の皆様の所有株式数に影響を与えるものではありません。また、今回の減資によって当社の純資産に変更を生じるものでもございません。

3) 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、増加後のその他資本剰余金のうち5,984,646,175円を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損補填に充当するものであります。これにより、繰越利益剰余金は0円となる予定です

(1) 減少する剰余金の項目及びその額 その他資本剰余金 5,984,646,175円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額 繰越利益剰余金 5,984,646,175円

4) 減資の日程 (予定となります。)

(1) 取締役会決議日 2020年8月21日

(2) 臨時株主総会決議日 2020年9月30日

(3) 債権者異議申述公告日 2020年9月30日 (予定)

(4) 債権者異議申述最終期日 2020年10月31日 (予定)

(5) 減資の効力発生日 2020年11月1日 (予定)

5) 今後の見通し

本件の資本金及び資本剰余金の額の減少並びに剰余金の処分による繰越利益剰余金の損失の解消は、純資産の部の科目間の振替処理であり、当社の純資産額の変動は無く、業績に与える影響はありません。

また、当該減資等につきましては、2020年9月30日開催予定の臨時株主総会において承認可決されることを条件としております。

議案2 完全子会社である株式会社東京小僧寿しとの吸収合併契約承認の件

1) 目的

当社の100%子会社である、株式会社東京小僧寿し(本社:東京都中央区日本橋 代表取締役社長:森下将典)(以下「東京小僧寿し」といいます。)につきまして、2020年11月1日を合併効力発生日とする吸収合併を致します。本合併に伴い、完全子会社である東京小僧寿しの管理・統括機能を当社に移管することで、機動的な運営管理体制を構築することが目的でございます。

なお、本日開催の当社及び東京小僧寿しにおいて、当該吸収合併契約につきまして決議が完了しております。また、本合併は100%子会社の吸収合併のため、開示事項及び内容を一部省略して開示しております。

2) 合併の日程 (予定となります。)

(1) 合併契約承認にかかる取締役会決議日 2020年8月21日

(2) 合併契約承認にかかる臨時株主総会決議日 2020年9月30日

(3) 債権者異議申述公告日 2020年9月30日 (予定)

(4) 債権者異議申述最終期日 2020年10月31日 (予定)

(5) 合併契約締結日 2020年9月30日 (予定)

(6) 合併効力発生日 2020年11月1日 (予定)

3) 合併方式

本合併は、当社を吸収合併存続会社、東京小僧寿しを吸収合併消滅会社とする吸収合併の方式によります。

4) 合併にかかる割当の内容

当社は東京小僧寿しの発行済株式の全部を所有しており、本合併による新株式の発行及び資本金の増加はございません。

5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債の取扱い

該当事項はありません。

6) 合併当事会社の概要

(1) 名称	株式会社小僧寿し (吸収合併存続会社)	株式会社東京小僧寿し (吸収合併消滅会社)
(2) 所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目 5番6号	東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目 5番6号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小林 剛	代表取締役社長 森下 将典
(4) 事業内容	持ち帰り寿し店「小僧寿し」の運 営、F C事業の展開	持ち帰り寿し店「小僧寿し」の運 営
(5) 資本金	3,481,776千円	10,000千円
(6) 設立年月日	1972年2月18日	2013年10月1日
(7) 発行済株式数	114,516,765株	200株
(8) 決算期	12月31日	12月31日
(9) 大株主及び持株比率 (自己株式除く)	株式会社 JFLA ホールディングス 13.4% 阪神酒販株式会社 5.4%	株式会社小僧寿し 100.0%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	2019年12月期(連結)	2019年12月期(単体)
純資産	9,203千円	△312,599千円
総資産	1,408,810千円	312,599千円
1株あたり純資産	△4円29銭	△1,562,997円54銭
売上高	5,804,616千円	2,690,144千円
営業利益(△営業損失)	△195,989千円	△173,826千円
経常利益(△経常損失)	△217,043千円	△183,634千円
親会社株主帰属する当期純利 益(△純損失)	△116,941千円	△177,687千円
1株当たり当期純利益 (△純損失)	△2円49銭	△888,437円48銭

7) 合併後の状況

本合併後の当社の名称、所在地、代表者の役職、氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

8) 今後の見通し

本合併は、当社と当社の完全子会社との間で行われるため、当社の業績に与える影響は軽微であります。また、本合併につきましては、2020年9月30日開催予定の臨時株主総会において承認可決されることが条件となります。

(参考) 当期連結業績予想及び前期実績

	売上高	営業利益 (△営業損失)	経常利益 (△経常損失)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (△純損失)
当期業績予想 (2020年12月期)	6,946百万円	36百万円	56百万円	26百万円
前期実績 (2019年12月期)	5,804百万円	△195百万円	△217百万円	△116百万円

以 上